

# 5月4日～5月8日分【第2週】解答例

※あくまでも解答例です。必要に応じて自分の解答を修正するなど、学習内容の理解に利用してください。

時	分野	教科書のタイトルと該当ページ	解答例
5 時 間 目	歴史	<p>【5章】 2 代表なくして課税なし (P134、135)</p>	<p>[ステップ1] 自由 平等 権利</p> <p>[ステップ2] 1775年にイギリス本国と、イギリス人が建設した13の植民地との間で独立戦争が始まった。戦争中の1776年、13植民地の代表はワシントンらが起草した独立宣言を発表。その後、植民地が勝利し、1783年のパリ条約でアメリカ合衆国の独立が承認された。大まかに経緯を見ていくと、もともと住む人々（先住民）ではなく、主にイギリスにルーツをもつ人々によって建国されたことが見えてくる。←</p>
6 時 間 目	歴史	<p>【5章】 3 「世界の工場」の光とかげ (P136、137)</p>	<p>[ステップ1] 産業革命により工業の機械化・大規模化が発達したイギリスは、インドの綿花など原材料を世界中から入手し、良質で安価な工業製品を世界中に大量に輸出した。これにより「世界の工場」とよばれた。</p> <p>[ステップ2] 光の面では大量生産が可能となり、工業の生産力や技術力が大きく向上したほか、交通網の発達により、人や物の移動時間が短縮されるなど人々の生活も便利になった。かげの面では、長い労働時間、子どもや女性の重労働、環境汚染、都市の不衛生な生活環境など、様々な社会問題が発生した。←</p>

7 時 間 目	歴史	<p>【5章】</p> <p>4 強大な国家を目ざして (P138、139)</p>	<p>[ステップ1]</p> <p>アメリカの呂づお拡大・西武開発はヨーロッパからの新たな移民や、人口過密・労働問題などに苦しむ東部の貧しい人々の受け皿になった一方で、奴隷制の存続を求める南部と工業化が進んで奴隷制に反対する北部との対立を激化させた。西部開拓は鉄道の発達によってさらに進展した。大陸横断鉄道の完成は開拓が進む西部を市場としてアメリカの工業が急速に成長することにつながった。また、東部と西部がつながり、合衆国の政治的・経済的な統一をもたらすことにもつながった。</p> <p>[ステップ2]</p> <p>列強という言葉の通り、強国であることが共通点である。国家の統一を進めたり、工業化を進めて産業を発達させたりして、早くから近代化に踏み出した国々は他の諸国と比べて、経済・軍事・外交・文化などの面で大きな力を持つようになり、国際関係の中で他国に影響を与えるようになった。フランス革命・ナポレオン戦争後の国際秩序の再建も列強が主導した。↪</p>
8 時 間 目	歴史	<p>【5章】</p> <p>5 国をゆるがす綿とアヘン (P140、141)</p>	<p>[ステップ1]</p> <p>いずれもイギリスを相手にした戦いであったこと、戦いが起こった背景にはイギリスの貿易上の利害があること、いずれの戦いもイギリスが勝利し、敗れた国への影響が大きかったこと。など</p> <p>[ステップ2]</p> <p>「鎖国」を続ける日本に対し、武力で開国をせまってくるのではないかな。 など</p>